

## 【理事会報告】

1999年度 日本村落研究学会 第4回 理事会 会議録

日 時 1999年9月12日(日)

場 所 東洋大学社会学部会議室(白山)

出席者 相川良彦、荒樋 豊、池上甲一、嘉田由紀子、大川健嗣、大野 晃、熊谷苑子、ガボリオ・マリ、北原 淳、黒柳晴夫、酒井恵真、杉岡直人、鳥越皓之、河村能夫、中道仁美、細谷 昂、松岡昌則 木下謙治、小林一穂、渡辺 正(20名)

欠席者 鶴 理恵子、徳野貞雄、安孫子 麟、大内雅利 高橋明善、(5名)

### 1. 報告事項

#### 1. 事務局報告

(1) 会員動向(詳細は後述参照)

新入会員(1名)

退会会員(4名)

住所不明会員(3名)

#### 2. 各種委員会報告

(1) 『年報』編集委員会

年報は、現在作業が進行中である。

(2) ジャーナル編集委員会報告

#### 原稿募集<緊急案内>

村研ジャーナルは2000年3月に第12号を発行の予定。論文や研究ノートの他に、フィールド・ノートや論点などの原稿も歓迎。

フィールド・ノートや論点などで投稿を以下の要領で申し込み受付。

フィールド・ノートや論点の例としては、6号と11号を参考にして頂きたい。

1. 原稿枚数 40枚程度

2. 原稿の締め切り 1999年11月末日

編集の都合上、あらかじめ事務局(重岡)ないし編集委員(荒樋、大内)まで、投稿の意向を連絡下さい。掲載については編集委員会で決定。

#### 3. 学会賞選考委員会報告

安孫子委員長: 学会賞選考結果報告は、昨年同様、大会前の理事会に報告。学会賞規約改正案のみ検討。

#### 4

#### 研究委員会報告

大川委員より、2000年大会企画「農政の転換と村落」について改めて提案を予定。

## II. 審議事項

### 1. 第47回大会の開催について

丹野事務局長より、開催準備状況が報告された。

2 会費の値上げ 時間がとれず、次回に継続することとなった。

### 3. IRSA特別委員会関係

下記の特別委員会の報告を受けて、さらに合同会議を行い、学会として取り組むことについて、理事会が責任をもって提案することが必要であるという意見にまとめ、大会前日の理事会で最終的に提案内容を整理することとなった。

#### ◎ IRSA特別委員会関係

特別委員会は、これまで4回の会議を行った。第3回 6月13日 学士会館

第4回 9月12日 東洋大学

第3回には、引き受け機関の候補として、龍谷大学をメインとする案（河村・池上）が提出され、具体的な費用支出を積算したものが検討材料となった。

第4回には、具体的な想定される課題について、整理をおこない、理事会に対して報告することとし、検討結果は総会および通信にて紹介することとなった。河村・池上委員から組織図等の企画資料が提示され、議論ののち修正が検討され、下記のように整理された。また、磯辺委員長代理が報告案を提示して、議論をし、さらに長谷川委員長が体調がすぐれず自宅でリハビリ中のため、電話・ファクス等にて確認・コメントを受けて、特別委員会報告が磯辺委員長代理によって以下のようにまとめられた。

